

道徳授業地区公開講座がありました

11月8日(土)に道徳授業地区公開講座がありました。沖縄の学童疎開船「対馬丸」に関するドキュメンタリー映画「満天の星」を鑑賞し、映画監督、葦澤 恒さんの話を聞き、生命の尊さ、平和の大切さについて考えを深めました。生徒の感想を載せます。

改めて、戦争の影響や悲惨さを感じる時間となりました。何もしていない、これから未来のある子どもや、民間人を葬り去ったこの事件を深く記憶に刻んで忘れないようにしていきたいと思います。また、ウクライナで起きている戦争や、これから起きるかもしれない戦争で子どもの未来が奪われることのないように、話し合いでみんなが幸せになれる、武力無き世界になって欲しいなと思いました。

A 組

私は、対馬丸事件を知りませんでした。映画から戦争で奪った命について再度学ぶことができました。歴史の教科書でしか戦争というものを学ばなくなっているため、このような命が奪われたことを忘れることなく、私達が伝えていく必要があると思いました。映画に出てきた人たちは、つらいであろう実体験を話していました。私達は、その人たちの話を聴いて、伝える側になれるようにしなければならなかったと思います。

B 組 白鳥 成翔

今回、初めて対馬丸について知りましたが、映画を通して、その悲惨さを知ることができました。また、ウクライナの戦争の現実についても知ることができました。映画や葦澤監督のお話を聴いて、戦争の体験について知ることは、人の気持ちを想像することにつながっていると考えました。今でも、ウクライナやガザでは、戦争や攻撃が続いていますが、「あっちが悪い」という先入観を1回捨てて、相手の現状を自分に当てはめて見ることで、平和につながるかもしれないと思いました。

C 組

戦争の残酷さは、テレビや授業などで教わっていましたが、経験者の目線になって「戦争」というものを見つめ直す機会は無かったので、戦争の残酷さを身に染みて感じました。そして、戦争というものが身近にあるウクライナの子どもたちの夢が「兵士」だと知り、その子どもたちの純粋さや素直さにやるせない気持ちでいっぱいになりました。今回、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

D 組

面接の受け方講座を受けました

11月11日(火)に行われた面接の受け方講座では、高校受験、大学受験、就職活動等で面接試験に臨む際に大切なことを教えていただきました。面接官は、受験生の内面と外面を見ています。今回は、面接室に入退室する際のノック、礼(3通り)気をつけの姿勢、歩き方、座り方、立ち上がり方などの動作や、発声の練習方法について学びました。また、面接官への思いやりの心をもって面接を受けるようアドバイスをいただきました。

動作(礼など)は、「面接の時だけ意識する」のではなく、毎時間の授業の挨拶の場面でも練習し、自然とできるよう身に付けていきましょう。

11月21日から、校長先生・副校長先生による面接練習が始まります。お忙しい中、学年全員のために時間を割いてくださいます。皆さんは、事前の準備・練習に丁寧に取り組み、面接練習が有意義な時間になるようにしましょう。

※面接練習の前日の朝学活で、「面接評価カード」(あさぎ色の紙)を担当の先生に提出して下さい。提出遅れや忘れがないよう必ず提出してください。

～ 進路に関するお知らせ ～

今後提出していただく書類について

- ① 第3回 進路希望調査・・・11/14(金)配布 → 11/21(金)提出
- ② 諸活動の記録・・・11/10(月)配布 → 21(金)提出
- ③ 調査書等作成願(封筒)・・・12月面談で配布 → 12/15(月)提出
※私立推薦書、私立指定調査書等、学校が作成する書類と入試要項を封筒に入れる。
※願書に学校印の押印が必要な場合は、鉛筆で下書きをした願書も同封する。
- ④ 推薦願(保護者記入)・・・12月面談時に記入、提出

生徒の取組

- ① 面接カードの作成、面接練習・・・11/17(月)① 総合
- ② 校長・副校長面接練習・・・11/21 (金)放課後～
- ③ 都立願書入力について・・・12/16(火)⑥ 総合
- ④ 自己PRカード下書き(都立推薦を受験する生徒)・・・12月 連絡します